



日乗連ニュース ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2007.10.02

No. 31 - 12

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会
〒144-0043
東京都大田区羽田5 - 11 - 4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274
E-mail:office30@alpajapan.org

日経メディカルオンライン

医療安全問題で対談

日乗連 AA 委員長と虎ノ門病院部長

2007年8月4日、医療業界情報メディア「日経メディカルオンライン」の企画で「刑事告訴は医療安全をもたらすか」と題して対談が行われました。近年医療事故で医師が刑事告訴される例が相次ぎ、処罰は安全な医療を実現するどころか、医療の不作為や立ち去りを加速し、医療システム全体を危機にさらしつつあります。こうした状況は医療だけに留まらずヒューマンエラーに対して厳罰を求める近年の日本社会が生んだ病理ともいえます。

そこで「医療崩壊」(朝日新聞社刊)の著者でもある虎ノ門病院の泌尿器科部長の小松秀樹氏と館野洋彰 AA 委員長が、安全で崩壊しない医療はどうしたら得られるのか、分野を超えて討論しました。対談は予定時間を超えて活発に行われその内容は8月29日から掲載されました。

日経メディカルオンラインは日本経済新聞社関連の医療情報媒体で日本全国約25万人の医療関係者のうち約11万人が購読しています。

日経メディカルオンライン <http://medical.nikkei.co.jp/>
2007. 8. 29
【刑事告訴は医療安全をもたらすかVol.1】
“過剰感情”が作り出す犯人探し

近年、医療事故で医師が刑事告訴される例が相次いでいる。医師は安全な医療を実現するどころか、医療の不作為や立ち去りを加速し、医療システム全体を危機にさらしつつあるように見える。ただし、こうした状況は医療だけに留まらない。ヒューマンエラーに対して厳罰を求める近年の日本社会が生んだ病理ともいえる。

そこで本連載では、「医療崩壊」(朝日新聞社刊)の著者でもある虎ノ門泌尿器科部長の小松秀樹氏と、航空安全の専門家としてヘアランの機長としてもある館野洋彰氏に、安全で崩壊しない医療はどうしたら得られるのか、分野を超えて対談していただいた。その内容を4回に分けて掲載する。

(2007年8月4日、東京駅にて収録。まとめと聞き手: 中沢 真由・日経メディカルオンライン 29日)

「過剰感情」が作り出す犯人探し

館野 最初に、館野氏について紹介し

館野 社員の組合の連絡のほとんど、航空部と航空保安課と協

— 近年、医療事故に限らず、被害者の過剰などが、加害者を雇用してはほしくないといった過剰の発言をする報道をよく目にします。

小松 今の日本では、被害者が感情をあらわにして加害者を訴えることが、はたしないことではなくなってしまいました。生の感情の影響は大きいですが、発露の証言も検証しないまま、社会にどのような影響を与えるかということを懸念し、報道されてしまうのは、とても危険だと思います。最近では、刑事事件の訴訟側に被害者が入る方向になりましたが、正当な裁判を期待することにな



航空安全シンポジウム in TOKYO

安全な社会の実現を目指して

システム性事故における責任追及はどうあるべきか

日本乗員組合連絡会議 事故解析（日乗連 AA）委員会は、毎年航空安全シンポジウムを開催していますが、今般下記日程で開催いたします。

昨今、様々な分野での事故において、「その責任の問い方は如何にあるべきか」との議論が活発になりつつあります。今回は「システム性事故における責任追及はどうあるべきか」をテーマに宇都宮大学 松岡猛 教授、虎の門病院 小松秀樹 医師、日乗連顧問 米倉勉 弁護士、日乗連AA 委員長 館野洋彰による基調講演に続き、パネルディスカッションを予定しています。奮ってご参加ください。

プログラム

第1部 基調講演

松岡 猛 教授（宇都宮大学工学部）・・・「事故調査体制の在り方」
小松 秀樹 医師（虎ノ門病院泌尿器科部長）・・・「司法と医療：言語論理体系の齟齬」
米倉 勉 弁護士（日乗連顧問）・・・「調査と責任追及 制度のあり方について」
館野 洋彰 機長（日乗連 AA 委員会委員長）・・・「航空事故と責任追及」

第2部 パネルディスカッション

パネリスト： 松岡 猛 教授、 小松 秀樹 医師、 米倉 勉 弁護士
司会： 館野 洋彰

第3部 質疑応答

日時：2007年10月20日（土） 18：00時～20：00時

場所：羽田空港第1ターミナル6F ギャラクシーホール

主催：日本乗員組合連絡会議 事故解析（AA）委員会
協賛：日本航空機長組合